

## 5月10日大火球の調査と

1977年5月10日21時36分ごろ関東から東北地方南部にかけて、大音響をともなった満月大の火球が出現した。

隕石となって落下したかも知れないということで、アマチュアを主力とする捜索隊が編成され、落下地点とおぼしき所を5月中に3回にわたって探した。この騒ぎがきっかけになって、大正11年に山形県長井市に落下した隕石と、大正初年ごろ山形県天童市貫津の山中から偶然に掘り出された隕鉄が、所有者によって捜索隊に披露されて、日の目を見ることとなった。それぞれ33番目（長井隕石）34番目（天童隕鉄）として日本の隕石リストに加えられた。

（写真提供 藤井 旭氏）

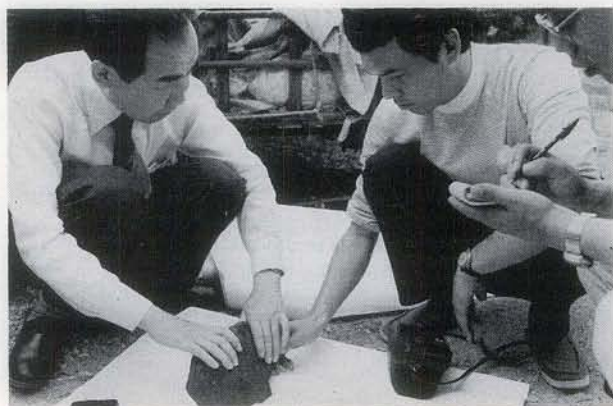


◀ 捜索隊の打合せ



◀ 捜索中の隊員達

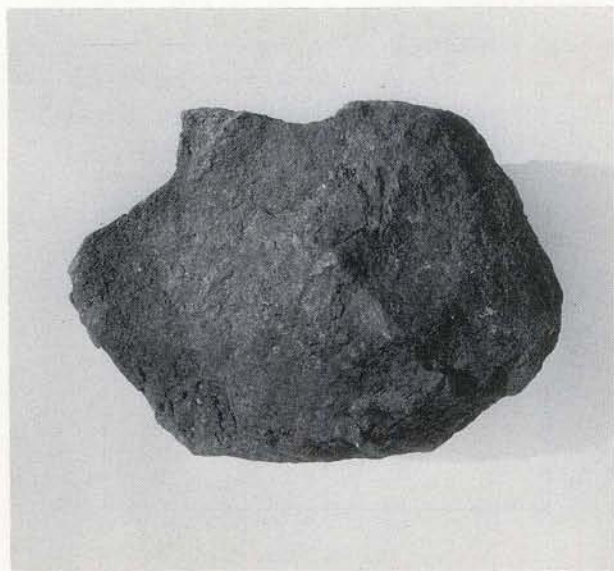
所有者から披露された  
長井隕石を見る村山・矢内両氏



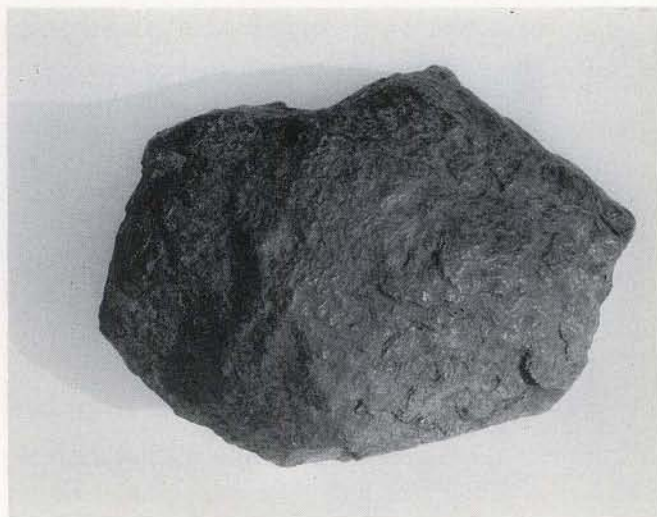
長井隕石・天童隕鉄



長井隕石 (13×14×8 cm, 18.1 kg)



天童隕鉄 (正面) (22×16×10 cm, 10.1 kg)



天童隕鉄 (側面)